

..... 編集後記

◆工業原料資源についての特集を核に12月号を構成しました。この特集の企画や執筆依頼などにご尽力いただいた富樫幸雄氏にお礼申し上げます。この特集に寄稿いただいた稿のうち、工業原料面を中心とした3編は既に9月号に掲載済みで、次号にも関連稿をいくつか載せる予定です。合わせてご覧下さい。

◆この特集では、都合がつかなくなった執筆予定者に代わって、そのテーマの一部を分担しました。慣れない領域でしたが、色々な人からご教示を得て、楽しく勉強させて頂きました。

◆カムチャツカの Klyuchevskoy 火山の写真は、噴火直後に来日した Y. Taran 氏から頂きました。口絵にもその一部を掲載することが出来ました。

◆森本信男先生からは、「伊藤貞市と鉱物学・結晶学」をご寄稿頂きました。このシリーズは、不定期ですが今後も続ける予定です。今回ご寄稿頂いた森本先生、およびご援助下さった佐々木昭様にあつくお礼申し上げます。

◆7-8月には中国に、また9-10月にはロシアに出張し、両国の現在を続けて体験する機会に恵まれました。7年ぶりの中国は、前回は見られなかった女性の洋服姿が街にあふれ、市場やデパートは豊かで活気に満ち、鉱山でも詳しい資料をどンドン見せてくれる開放的な姿勢が印象的でした。しかし一方で、余りに速すぎる西欧化と経済成長がもたらす歪を憂えるある大学の学長の顔も忘れられません。12億の人口をかかえる中国の将来は、環境問題を含めて今後の世界に大きな影響を及ぼす事になるでしょう。

◆美味しい中国料理で舌が肥えた後のロシア滞在は、食事に関する限り、はっきり言って苦痛そのものでした。科学アカデミーや旧地質省の予算は減り続け、滞在中ルーブルが暴落するなど、ロシア経済に明るい見通しはないようですが、それでも女性は着飾り、市場にも食糧は豊かで、多くの人の親切に支えられて会議や調査を予定どおり終えることが出来ました。たまたま会った米国人が、「飢餓もない普通の社会にびっくりした」と旧西側に伝わって来る情報の偏向ぶりを批判していましたが、同様の感想を持つ人は多いのではないのでしょうか。

◆帰国して夕方の東京に着くと、混み合う電車の中の疲れきった日本人の顔に別の衝撃を受ける事になります。「疲弊した」ロシアにもこんなに疲れた表情は見られない事を思い出して、現代日本の貧しき一面のことを思わざるを得なくなるのです。

◆さて、最後にまた編集についてひとこと。最近の原稿でカタカナが気になる事があります。例えば、「プレートテクトニックセッティングのスキームからみたエピサーマルシステム……」などなど。これニホンゴですか？ 適当な表現がある用語は日本語でお願いします。

◆ところで、今年のテレビ広告(コマーシャル)で、「すったもんだがありました」というのが評判になったとか。限られた誌面に限られた稿をうまく収めるため二転三転、本誌の編集部では、流行を先取りして、何年も前から「すったもんだ」には慣れ親しんでおります……………。(佐藤興平 記)

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（畠山浩之・徳宿由美子）
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュース 第484号 1994年12月号
定価 ¥ 770 千 円 実 費

1994年12月1日 発行

編 集

発 行人

発 行 所

印 刷

工業技術院地質調査所
株式会社実業公報社
代表者 林 光 生
株式会社実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
Tel. (03)3265-0951 (代表) 千 102
振替口座 東京 00110-6-32466
麹町局私書箱第21号
小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ